



マーキング、印字、およびラベリングシステム

ビデオジェットの Codentify® ソリューション



トラック & トレースおよび製品認証

Codentify® (コーデンティファイ) 対応のシステム構築で必要となる印字システムで求められるのは、機械判読可能なシリアルコードの印字やラインの生産能力への適合だけではありません。

タバコ製造装置へシームレスに統合できることや印字コード生成ソフトウェアとの互換性も重要です。

ビデオジェットの Codentify® インターフェイスは、御社の Codentify® インフラとプリンタの間の接続にまつわる複雑さや不便さを最小限に抑える設計となっています。

御社のサプライチェーンの保護を サポートします

最新のデジタル印字技術を使用することで
生産ラインの稼働時間と性能が最大となり、
タバコパッケージ、カートンそして
マスターケースを含むトータルでの法規制へ
のコンプライアンスが達成できます。

稼働率アップのアドバンテージ

連続稼働の求められる生産ラインでは、プリンタが原因のダウンタイムは許されません。当社の Codentify® 対応のシステムは、生産ラインにおける全ての印字工程の連続稼働をささえます。

印字事故防止技術

当社の Videojet Codentify® (コーデンティファイ) インターフェイスには画像認識装置が接続できて、操作も簡単です。印字品質を向上できるだけでなく、直感的に操作できるタッチ式操作パネルで確実に正しい製品に正しい内容の印字ができます。

生産性アップのアドバンテージ

ビデオジェット印字装置と当社の Codentify® インターフェイスを併用することで、Codentify® 関連のソフトウェアとプリンタ関連のファームウェアのアップデートを分けて完了することができて、高いスループットも維持できます。

高い操作性

業界をリードするハードウェアとソフトウェアの技術革新によって、当社の Codentify® 対応ソリューションは、簡単操作とメンテナンス軽減を実現しており、御社の包装プロセスに合わせた設計が可能です。

優れた接続性



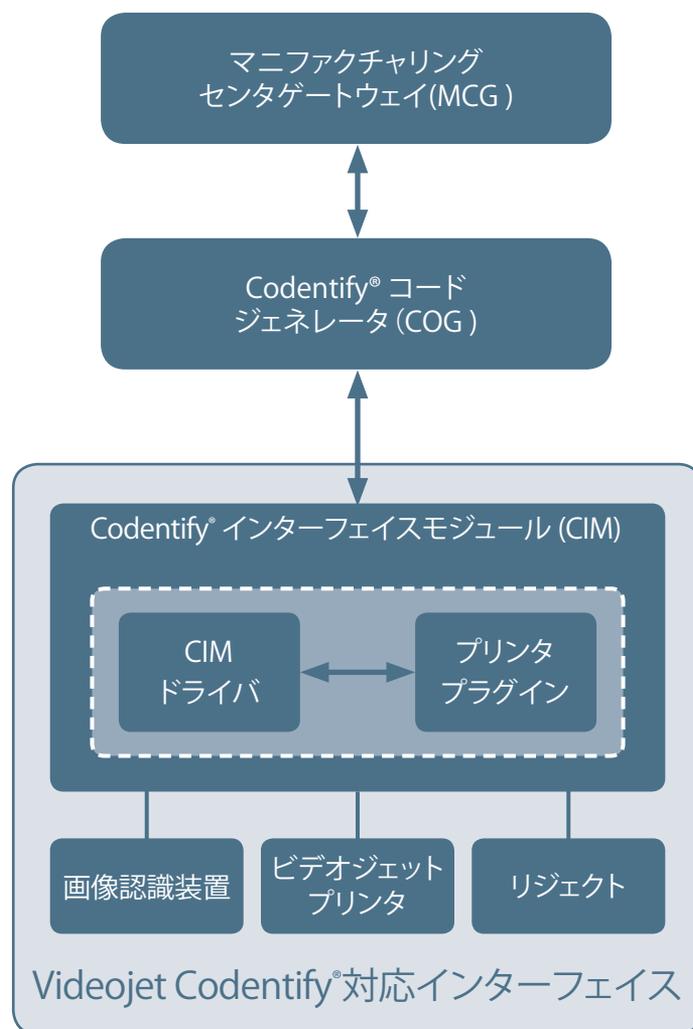
生産ライン上での機能

Videojet Codentify® (コーデントファイ)インターフェイスは、生産ライン上のプリンタから出力する情報を生成する Codentify® コードジェネレータ (COG) に接続するスタンドアロン型モジュールであり、頑丈な産業用筐体に守られた中にすべてのハードウェアが組み込まれています。

このユニットには、生産ラインを制御する I/O 信号や生産ライン用トリガー、そしてそれ以外の画像認識装置、操作用タッチスクリーンなどに接続できる追加の端子がありますが、それらの端子は筐体で保護されています。また Codentify® (コーデントファイ)インターフェイスモジュール (CIM) は、生産ラインプリンタへの通信を制御します。

CIM テンプレートエディタ では、テンプレートを簡単にセットアップすることが可能で、静的データと動的データを組み込むことができます。テンプレートファイルは マニファクチャリングセンタゲートウェイ (MCG) から呼び出されますが、動的な変数は Codentify® コードジェネレータで生成されます。

CIM は印字をバッファに格納し、Codentify® コードジェネレーターにレポートを返すことができます。



ビデオジェットの Codentify® インターフェイスのメリット



プリンタ自体に必要なハードウェアが内蔵されている他社ソリューションと比較して、ビデオジェットの Codentify® インターフェイスには次のようなメリットがあります。

- I/O 信号関連、タッチスクリーン PC、プリンタのハードウェアなどの装置に対して柔軟な接続性がある
- Codentify® に関連するソフトウェア (COG と CIM) と、プリンタに関連するファームウェアが独立しているため、アップデートの必要頻度が少なくなり、複雑性が軽減されている
- プリンタのハードウェア変更やアップデートがサポートされており、プリンタの生産ライン内での移動にも対応できる (一度にアクティブにできるドライバは 1 つのみですが、すべてのドライバが CIM 内にあります)
- Codentify® に関連するハードウェアとソフトウェアが生産ラインのプリンタから物理的・機能的に明確に分離しているために、各コンポーネントの制御性が向上しており、メンテナンスが簡単に行える



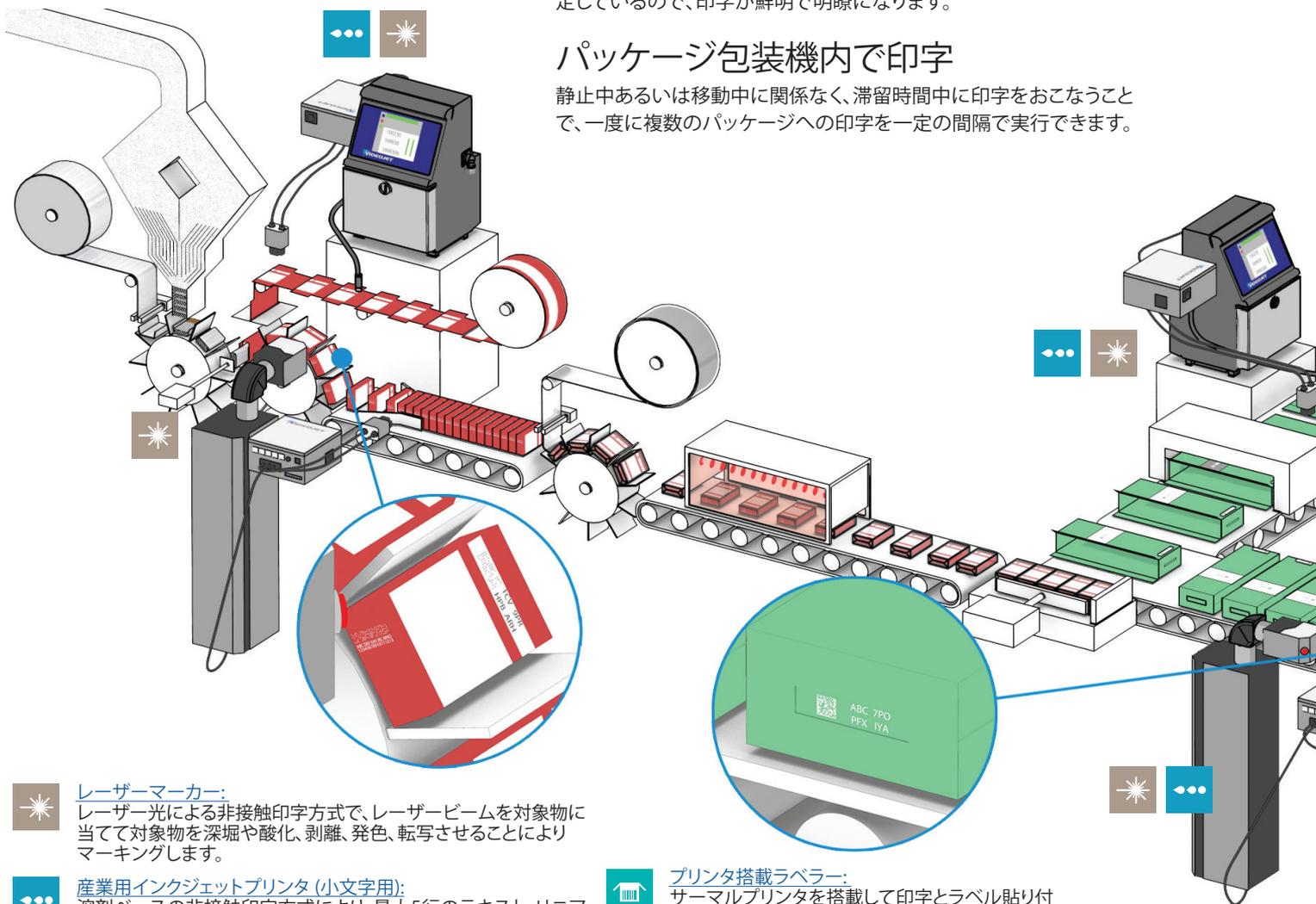
タバコ製造装置のメーカーと連携することでシームレスな生産ラインへの統合を実現

タバコを梱包する前の包装材へ印字

ホッパー工程から出てきたボックスタイプパッケージや、ロール紙形状ソフトカップパッケージへ印字した場合、印字対象包装材の搬送が最も安定しているため、印字が鮮明で明瞭になります。

パッケージ包装機内で印字

静止中あるいは移動中に関係なく、滞留時間中に印字をおこなうことで、一度に複数のパッケージへの印字を一定の間隔で実行できます。



レーザーマーカ:
レーザー光による非接触印字方式で、レーザービームを対象物に当てて対象物を深堀や酸化、剥離、発色、転写させることによりマーキングします。

産業用インクジェットプリンタ (小文字用):
溶剤ベースの非接触印字方式により、最大5行のテキスト、リニアバーコード、二次元のバーコード、グラフィックスを印字します。トラバース装置を利用することで、静止した包装への印字が可能な機種もあります。

プリンタ搭載ラベラー:
サーマルプリンタを搭載して印字とラベル貼り付けを同時に実行できます。バーコードを含むオンデマンド印字が可能です。

レーザーマーカで
耐久性の高い固体識別情報
である2次元シリアルコード
を包装に印字することで
セキュリティを強化して
偽造品に対抗できます。



カートン詰前に印字

パッケージや透明なラップへの印字は、印字対象面が安定して搬送されるという面においてパッケージ包装への印字と印字条件が類似しており、最適な印字品質を得ることができます。

カートン内で印字

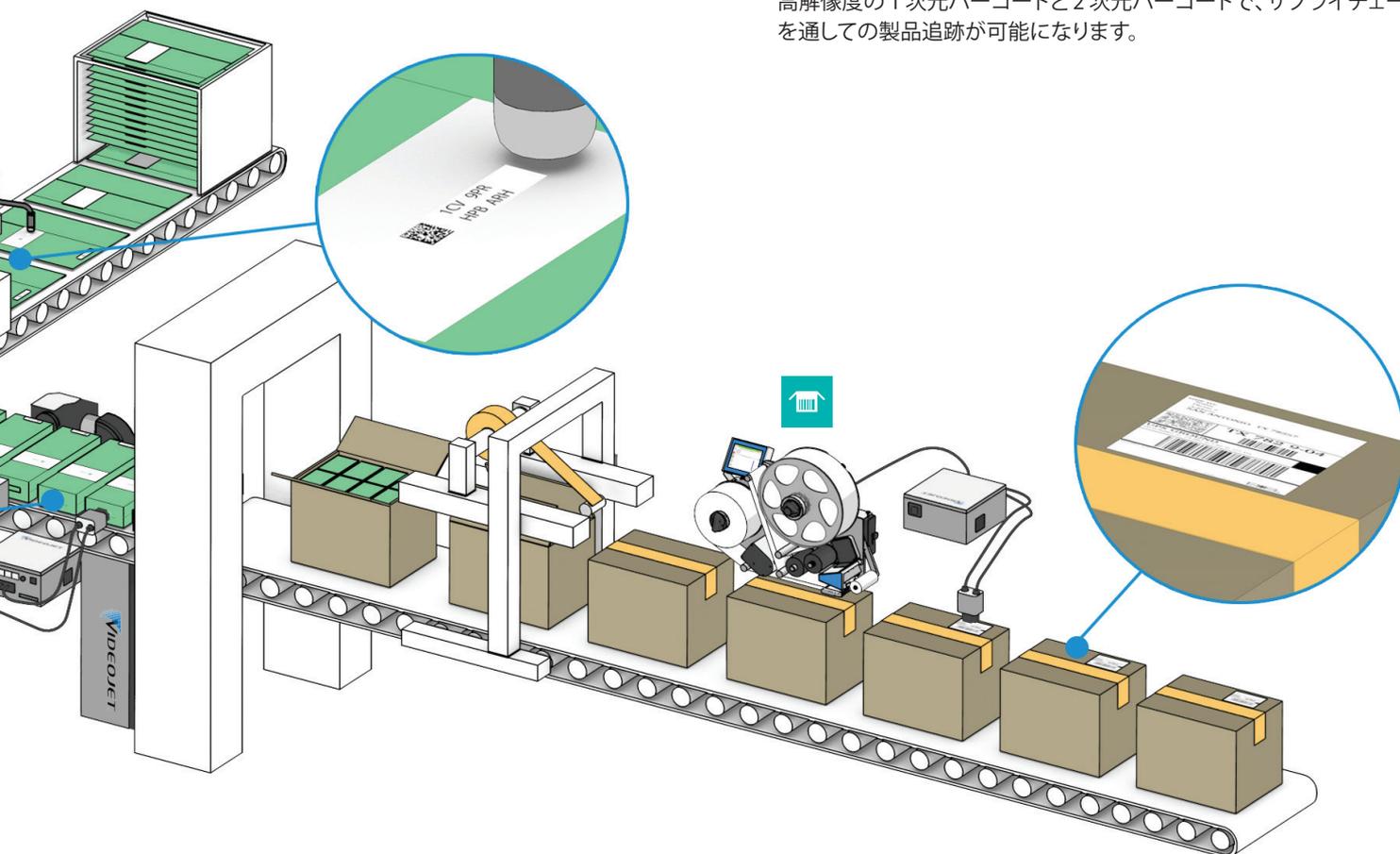
レーザーマーカのビーム屈折ユニットは小型で、カートナーメーカーの装置の狭い場所にも設置できます。

コンベヤーでカートンまたは バンドルラップへ印字

タバコパッケージへ印字する場合と同様に、コンベヤー上で印字をおこなうときには装置の設置自由度は大きくなります。しかしながらカートンへの印字で、コンベヤー上の両側に印字機が必要となる場合もあります。インクジェットプリンタ、レーザーマーカおよびラベラーなどの装置で柔軟な設置が望めます。

マスターケース (2次包装) へ印字

高解像度の1次元バーコードと2次元バーコードで、サプライチェーンを通しての製品追跡が可能になります。



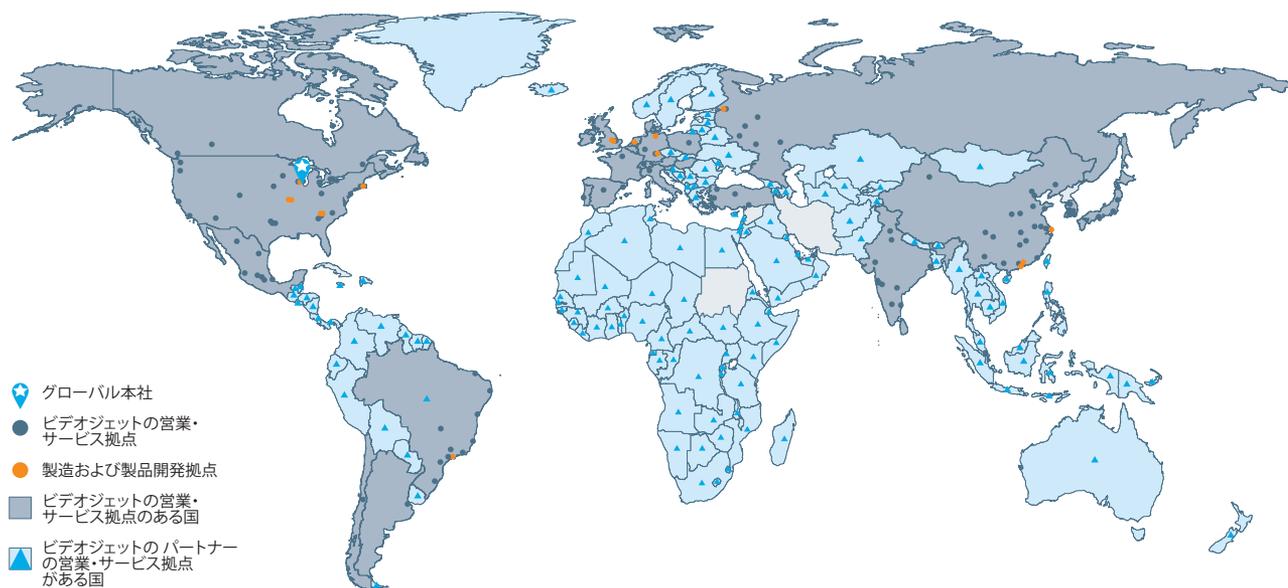
安心がビデオジェットの標準

ビデオジェットは、産業用印字のグローバル市場で活躍する企業で、インラインでの印字やマーキング用装置、特定用途向けに開発された溶剤、そして製品のライフサイクルを通じたサポートを提供してきました。

当社の目標は、コンシューマ向けパッケージ品、医薬品、工業用品などを製造するお客様とのパートナーシップを通して、そのお客様が生産性を強化してブランド価値の保護や向上を図り、業界トレンドや法規制遵守で業界のリーダーとなるお手伝いをすることです。産業用インクジェットプリンタ（大文字用と小文字用）、サーマルインクジェットプリンタ、レーザー

マーカ、産業用サーマルプリンタやラベラーなどの製品分野で専門的ノウハウや先端技術を有するビデオジェットは、世界で325,000台を超えるプリンタの納入実績があります。

ビデオジェット製品は、販売先で1日100億を超える製品に印字を行っています。世界26ヶ国の直営事業所で3,000名以上のスタッフが、製品販売、設置やトレーニングのサポートを提供しています。また、流通ネットワークには400以上の代理店業者およびOEMが含まれており、135ヶ国でサービスを提供しています。



TEL: 0120-984-602
E-mail: info@videojet.co.jp
URL: www.videojet.co.jp

ビデオジェット社
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10
テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2015 Videojet Japan - All rights reserved.

なお、ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。

Codentify は Digital Coding & Tracking Association の登録商標です。

パーツ番号SL000620
br-codentify-jp-0215
20151007

